

第2回 地域避難計画・地域タイムライン ワークショップ

ー 北池田中学校区・石尾中学校区 ー

令和7年8月30日（土）

和泉市 危機管理課



和泉市

「トカイナカ」で子育てしやすいまち



本日の内容

その1 第1回WSの振り返り

その2 地域避難計画とは

その3 防災まち歩きのとりのまとめ

その4 次回のWSについて

その１ 第１回WSの振り返り

アンケート結果

【質問１】今回のワークショップの説明は分かりやすかったですか？

No.	項目	件数	割合
1	分かりやすかった	21	38%
2	どちらかというと分かりやすかった	24	44%
3	どちらかというと分かりにくかった	7	13%
4	分かりにくかった	0	0%
5	無回答	3	5%
	合計	55	100%

【質問２】避難する際に、どこに避難するか決めていきますか？

No.	項目	件数	割合
1	決めている	33	60%
2	決めていない	21	38%
3	無回答	1	2%
	合計	55	100%

その１ 第１回WSの振り返り

【質問３】町会・自治会で災害時の対応について
話し合いなど行っていますか？

No.	項目	件数	割合
1	している	27	49%
2	していない	25	45%
3	無回答	3	5%
	合計	55	100%

【質問４】町会・自治会で、防災に関する取り組みを
行っていますか？

No.	項目	件数	割合
1	行っている	34	62%
2	行っていない	20	36%
3	無回答	1	2%
	合計	55	100%

その１ 第１回WSの振り返り

【質問5】過去に被災経験はありますか？

No.	項目	件数	割合
1	ある	16	29%
2	ない	37	67%
3	無回答	2	4%
	合計	55	100%

その１ 第１回WSの振り返り

地域タイムラインとは？

台風や大雨による **洪水** や **土砂災害** は、
気象情報からあらかじめ予測することができます。

災害が発生する前に事前の備えをして避難することで
身の安全を確保することができます。

事前の備えとして、地域で
「いつ」「誰が」「何をするのか」
を時系列に整理したものが
「地域タイムライン」です。



その1 第1回WSの振り返り

地域タイムラインとは？

地域タイムラインのイメージ

いつ	時期	情報	何をきかけに	防災行動		誰が
				個人	地域（自治会）	
	台風最接近の 2～3日前	気象情報		事前にハザードマップを確認 非常持出袋の確認	地域連絡網の準備 安否確認方法の確認	
	台風最接近の 1日前	気象情報		鉄道、バスなどの運行情報確認 非常持出袋を玄関に準備	要配慮者へ声掛け	
	台風最接近の 数時間前	避難指示 警戒レベル4	何を	指定緊急避難場所へ避難開始	指定緊急避難場所へ避難開始 要配慮者の見回り・支援の開始	
	台風最接近	警戒レベル5		避難が完了	地域全員の無事を確認	

その1 第1回WSの振り返り

 地域タイムライン  和気町町内会 						
災害発生 目安	警戒レベル	取るべき行動	個人の行動		地域の行動	
			基本的な行動	時間軸を考慮(夜の場合)	基本的な行動	時間軸を考慮(夜の場合)
1~2日前	警戒レベル 1 早期注意情報 気象庁が発表	災害への心構えを高める	☐ 気象情報の収集 ☐ 家の周囲の片付け、排水溝の点検 ☐ 懐中電灯、ラジオ、電池の準備 ☐ 非常用食料、飲料水の準備 ☐ 避難所、避難経路の確認	☐ 気象情報の収集 ☐ 在宅避難の準備 ☐ 停電に備え、早めにスマホなどの充電 ☐ 冬は防寒対策(毛布などの準備) ☐ 外出中の家族との連絡	☐ 気象情報の収集 ☐ ハザードマップの確認 ☐ 市からの情報を確認 ☐ 地域内の見回り ☐ 要支援者の担当者を確認する	☐ 気象情報の収集 ☐ 役員間の意思疎通 ☐ 避難先の確認 ☐ 要支援者の声かけ ☐ 危険場所への立ち入り制限
半日			☐ 気象/防災情報の収集 ☐ 火の始末、ブレーカーのチェック ☐ 家族の予定、居場所の確認 ☐ 貴重品、防災グッズをまとめておく ☐ 屋外の物が倒れたりしないようにする	☐ 気象/防災情報の収集 ☐ 市からの情報の収集、確認 ☐ 家族の居場所、安否の確認 ☐ 屋内の2階に大事な物を運び上げる ☐ 浴槽に水を溜めておく	☐ 要支援者の声かけ ☐ 放送機器的確認 ☐ 危険箇所の見回り ☐ 避難希望者への援助 ☐ 今後の行動を確認する	☐ 正確な情報把握 ☐ 2人以上で見回る ☐ 停電、断水の確認 ☐ 避難所への経路を確認 ☐ 歩行困難者への対応検討
数時間前	警戒レベル 2 大雨・洪水・高潮 注意報発表 気象庁が発表	避難行動を確認 避難の準備				
	警戒レベル 3 高齢者等避難 市が発令	危険な場所から 高齢者等避難	☐ 気象/防災情報を確認する ☐ 家の戸締まりを入念にする ☐ 避難場所を家族で決めておく ☐ 行動しやすい服装に着替える ☐ 不必要な外出はしない ☐ 状況により避難を開始する	☐ 気象/防災情報を確認する ☐ 外出中の家族の安否確認 ☐ 2階など安全な場所で過ごす ☐ 夜間の外出は控える ☐ 停電に備え、スマホなどの充電 ☐ ガスの元栓、ブレーカーのチェック	☐ 市からの情報の確認 ☐ 危険箇所に近づかないよう伝達 ☐ 避難者の誘導 ☐ 避難経路の見回り ☐ ※以上の行動は、2人以上で実施 ☐ 民生委員との連絡を密にする	☐ 市からの情報の確認 ☐ 2人以上で見回る ☐ 屋外にいる人に帰宅を促す ☐ 民生委員と連絡を密にする
直前	警戒レベル 4 避難指示 市が発令	危険な場所から 全員避難	☐ 気象/防災情報を確認する ☐ 市からの情報を確認する ☐ 貴重品、防災グッズを手元に置く ☐ 避難指示があれば行動に移す ☐ 避難する際は戸締まりを厳重にする ☐ 外出中の家族に避難先を連絡する	☐ 気象/防災情報を確認する ☐ 市からの情報を確認する ☐ 戸締まり、火の始末を厳重にする ☐ 貴重品、飲料水を持って2階で過ごす ☐ 外出中の家族と時々連絡を取る	☐ 市からの情報を確認 ☐ 逃げ遅れた人がいないか確認 ☐ 河川水位の確認 ☐ ※以上の確認は2人以上で実施 ☐ 民生委員との連絡を密にする	☐ 市からの情報を確認 ☐ 市や警察、消防などから依頼があれば、できるだけ協力
0時間前	警戒レベル 5 緊急安全確保 市が発令	命を守る行動! 【安全確保】	避難完了 ※危険な状況で行動しない		避難完了・事前の安否確認完了 ※危険な状況で行動しない	

この地域タイムラインは〇〇〇〇部作成し、一部あたりの単価は〇〇円です。

その2 地域避難計画とは

地域避難計画とは？

身近な地域の災害による危険性、災害時にとるべき行動等をまとめたもの

➡ 防災ガイドマップやハザードマップをより有効に活用するための計画



防災ガイドマップとハザードマップは、主に避難情報や和泉市で起きるおそれのある災害を「知る」ことに特化した内容

地域避難計画は平常時や災害時に自分が何をすればいいのか「考える」に特化した内容

その2 地域避難計画とは

地域避難計画とは？ A1サイズ(A4サイズ8枚分)

表面

- 自分の避難先を考える
(在宅避難の場合、避難する場合の備えについて考える)
- 避難のタイミングや注意点を考える
- 地域の助け合いを考える

裏面

- 中学校区の地図に、防災まち歩きで見つけた危険な場所、役立つ場所を掲載
- 自宅付近や避難経路にある危険箇所を考える

表面

[illegible][illegible]

第

地域の助け合いを覚えよう！

小①～⑩を参考に自分は何ができるか覚えよう！



① 一時集合

大震災が発生したとき
まずは安全な集合場所に集まろう！(避難所へ移動)

集合する

- 集合場所は、地震で崩壊が予想される場所を避け、安全な場所を選びます。
- 集合・集合場所の場所(避難所など)と一緒に集合し、地震の発生時や消火、食料、備品など・避難などを行います。避難し、集合場所・避難の場所(避難所)に移動です。

集合する場所

- 公園
- 学校
- 避難所
- 集合場所など

集合場所について

- エレベーターホール

● 注意、エレベーターホールは地震で故障する可能性があります。



④ 安全確認

安全を確認

- 避難所から1軒建物の奥の隅に立つと安全で、地震の中で、安全確認の時間短縮もできます。
- 1階の奥の隅に立って、壁や柱に寄りかかると安全です。
- 地震発生時、安全確認を行います。
- 安全確認を安全な場所(避難所など)に行き、安全確認を行います。



⑩ 初期消火

初期消火

- 火災発生時、火災発生を知らせ、避難の指示を助けて避難するようになります。
- 火災発生後、火災発生を知らせ、避難の指示を助けて避難するようになります。
- 火災発生後、火災発生を知らせ、避難の指示を助けて避難するようになります。

自分自身で
できることを
覚えておこう！

10

となり近所の助け合い

～みんなで生き残るための取組み～

04

救出

準備として

● 家族や職場等の下書きになった人の数出し

● 下書きになった人への呼びかけ

● パール、銀のジョッキなどを使い、避難経路の表示

● 中々避難が下書きになった人の数出しを促す

ポイント

● 避難の要を避難所から呼んで、いつでも助け合いを促すようにする

● 1人での避難は危険であり、必ず3人以上で避難しようとする

応急手当・搬送

準備として

● 心臓病などAED

● 出血に对应する包帯

● やけどに対する手拭

● けが人の搬送

● 平車：緊急対応や車中、人力搬送：移動や避難経路、搬送

ポイント

● 搬送するときは、相手と避難所や避難所を呼ぶようにしようとする

足踏の平車

包帯の手拭

包帯止血と包帯

情報収集・伝達

準備として

● 近（着）隣人のグループ内で情報収集

● グループで収集した情報をもった避難所などに伝達

ポイント

● 避難所や避難所、避難所からの伝達手段を確認するなどの、事前の了解により迅速にしようとする

● 情報の伝達、伝達を受けた手段を伝える

グループで役割分担を明確に

災害情報

避難所や避難所

伝達手段

避難所

伝達手段

災害情報

避難所

避難所

避難所

図：近所からの伝達手段の取組み

在宅避難の場合・避難する場合の備えを考えよう！

表面

[illegible]

となり近所の助け合い

～みんなで生き残るための取組み～

04 救出

ポイント1

- 自身の安全を最優先に考え、いつでも逃げられるようにしておく
- 1人1人役割を分担しあえ、お互うの手を離さず協力しよう



05 応急手当・搬送

ポイント1

- 救急手当ての際に、必ず2人以上協力して行うようにしましょう

応急手当や搬送



搬送方法



06 情報収集・伝達

ポイント1

- 安全な場所から、状況を確認し的確な指示を出すことし、密着した状況に素早く対応する
- 情報の正確さ、量に合った手段で伝える



グループで確認する

● 状況 確認のグループ内で情報収集

● グループで確認した情報を他の班員に伝達し、伝達し

グループで確認した内容	情報収集・伝達	状況の把握	情報伝達
● 状況の確認 ● 状況の把握 ● 状況の把握	● 状況の把握 ● 状況の把握 ● 状況の把握	● 状況の把握 ● 状況の把握 ● 状況の把握	● 状況の把握 ● 状況の把握 ● 状況の把握

その2 地域避難計画とは

マイ・タイムラインを作成しよう！ 避難情報や学校の対応について知ろう！

マイ・タイムラインを作成しよう！

台風や前線が発生！

2 避難する前の準備を考えよう！

警戒レベル 1
早期注意情報
気象庁が発表
災害への心構えを高める

警戒レベル 2
大雨・洪水・高潮
注意情報発表
気象庁が発表
ハザードマップなどを使って
避難行動を計画する

警戒レベル 3
高齢者等避難
市が発表
危険な場所から
高齢者等避難

警戒レベル 4
避難指示
市が発表
危険な場所から
全員避難

警戒レベル 5
緊急安全確保
市が発表
災害発生または
緊急の危険に安全確保！

雨が強くなる前に準備

避難行動を開始

身の安全を確保

避難所、避難経路の再確認

家族の予定を確認、はぐれたときの連絡手段を確認

非常用持ち出し袋の再確認

病院に薬をもらいに行く

携帯電話、モバイルバッテリーの充電

大切な物を2階に上げる

家の周りにある風に飛ばされそうな物の片付け

ベットや介護などが必要な家族がいる場合はあらかじめ浸水しない
施設や親戚宅などへ避難させるなど検討しよう。

3 避難時の注意点などを考えよう！

テレビやインターネットで避難情報を確認

動きやすい服に着替える（靴は避難靴など）

近所の高齢者などに声をかける

戸締まり、ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る

4 避難方法を考えよう！

いつ
（タイミング）

例：〇〇が浸水したら。

なにで
（移動手段）

※なるべく車での避難は控えよう！

どこへ
（避難所など）

へ逃げます！

移動時間

約 分

和泉市立学校の対応、避難情報と警戒レベルについて

和泉市立学校における避難などの発令が明らかに予測される場合、発令された
場合の臨時休業などの判断基準について

時刻	警戒など	対応	給食など	
前日	14時まで 17時まで	平日に「和泉市」に大雨警報、暴風警報または特別警戒が発令されることが明らかに予測される場合	・市教育委員会から学校へ対応方針を通知 ・学校から保護者へ対応方針を通知（保護者連絡アプリ、郵便物など） ・市ホームページに対応方針を掲載 (1)全校給食休業 (2)全校から給食休業（給食なし） (3)全校午後から給食休業（給食あり） (4)その他	左記対応 (1)(2)の場合は、給食なし
当日	7時まで 登校まで 登校後	「和泉市」に大雨警報、暴風警報または特別警戒が発令 ・全校臨時休業 ・全校臨時休業 ・通学路付近の安全状況、児童生徒の家庭の状況などを把握した上で、適やかに下校 ・下校させることが危険だと学校が判断した場合は、学校で待機後、保護者へ引渡し。	給食なし 給食なし 状況に応じて対応	

※大雨警報、暴風警報等の発令などにより、学校が臨時休業となった場合、中学校及び義務教育学校最寄り駅までの区間は中止とします。
※学校周辺の道路状況やその他の危険な状況により、児童生徒の安全が確保できず、学校ごとに臨時休業などを決定する場合があります。

参考資料「和泉市立学校における大雨、暴風警報、特別警戒が発令された場合の対応」

平日	学校が臨時休業または早退となる場合 （大雨警報、暴風警報などの発令が明らかに予測される場合の計画休業を改め、 学校からの配信メール、市ホームページなどで確認してください） 留守家庭児童会発令中に「和泉市」に大雨警報、暴風警報 または特別警戒が発令された場合	臨時休業 臨時休業 （保護者のお迎えが必要）
※臨時休業となる場合は、留守家庭児童会に支援員の配属をしません。 ※臨時休業などの緊急のお知らせは連絡メールにて行います。 ※その他児童の安全確保のため、臨時休業とする場合があります。 ※台風接近時には避難情報や市からの連絡メールに注意し、児童が安全に帰宅できるように家庭で話し合っておいてください。		

避難情報と警戒レベルについて

避難情報等（警戒レベル）			河川水位や雨の情報（警戒レベル相応情報）	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災無線情報 減水の情報（河川） 土砂災害の警報（海）
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報 大雨特別警報 （土砂災害）
警戒レベル4までに必ず避難！				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当 氾濫危険情報 土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警戒 大雨警戒
2	気象状況悪化	自らの避難行動 を計画	大雨・洪水・高潮 注意情報	2相当 氾濫注意情報
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報	1相当

市長は、河川や雨の情報（警戒レベル相応情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に「避難情報」（警戒レベル）を発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相応情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

14

その2 地域避難計画とは

表面

和泉市 令和7年3月作成

地域避難計画

郷荘中学校区

毎年 月 日に備蓄品の点検をします!

防災情報

いざメール

防災メール

防災メール

0725-47-4771

1 自分の避難先を考えよう!

スタート! ハザードマップで自宅を確認しよう! ハザードマップの活用

安全な場所を選んでいて身を寄せられる避難所や知人等へ避難

安全な場所がある 避難所や知人等へ避難

安全な場所がない 避難所や知人等へ避難

安全な場所がない 避難所や知人等へ避難

「避難」とは「難」を「避」けることです。

安全な場所にいる人は、避難所などに行く必要はありません。

「安全な場所」は「安全な場所」です。

安全な場所を確保し、避難所や知人等へ避難

安全な場所を確保し、避難所や知人等へ避難

安全な場所を確保し、避難所や知人等へ避難

備えを考えよう!

避難所、避難先、避難経路など避難先で避難する際に備えるもの

避難所、避難先、避難経路など避難先で避難する際に備えるもの

避難所、避難先、避難経路など避難先で避難する際に備えるもの

避難所、避難先、避難経路など避難先で避難する際に備えるもの

避難所、避難先、避難経路など避難先で避難する際に備えるもの

マイ・タイムラインを作成しよう!

災害や避難が発生したとき

避難する前の準備を考えよう!

避難する前の準備を考えよう!

避難する前の準備を考えよう!

避難する前の準備を考えよう!

避難する前の準備を考えよう!

和泉市立学校の対応、避難情報と警戒レベルについて

和泉市立学校における避難などの対応が明らかにされた場合、発生した災害の避難体制などの避難体制について

避難情報と警戒レベルについて

避難情報と警戒レベルについて

避難情報と警戒レベルについて

避難情報と警戒レベルについて

地域の助け合いを考えよう!

1 一時集合

2 安否確認

3 初期消火

4 避難所

5 避難所

6 避難所

7 避難所

8 避難所

9 避難所

10 避難所

となり近所の助け合い

1 一時集合

2 安否確認

3 初期消火

4 避難所

5 避難所

6 避難所

7 避難所

8 避難所

9 避難所

10 避難所

地域の助け合いを考えよう！

 01 ~ 06 を参考に自分は何ができるか考えよう!

大地震が発生したら…
まずは **身近な集合場所に集まろう!** (避難所など)

● 集合場所は、地域で身近な集合場所(避難所など)を決めておきます。

● **町会・自治会の班（組）単位などで一時的に集合し、地域の安否確認や消火、救出、情報収集・伝達などを行います。活動しやすい目安は20軒（世帯）前後です。**

公園 こみ集積場所 駐車場 空き地など

エレベーターホール

棟前、エレベーターホールなども活用できます。

● 少数グループや階級の区画ごとに行うなど、地域の中で、安否確認の実施範囲を決めておきます。

- **近所の人たちの安否確認（確認内容）**
 - ・助けが必要/不要
 - ・在宅/不在
 - ・けが人の有/無

● 安否情報を市の防災組織などに報告

- いざというときに助けが必要となる人たち（避難行動要支援者など）の情報を、地域の中で日頃から共有しておきます。

● 自分の安全を最優先に考え、複数の人と協力して行動することが大切です。

- 消火器を持ち寄って素早い消火
- お風呂の残り湯を使った消火
- バケツリレーによる消火

● 危険を感じた場合には、無理をせず消火をあきらめて直ちに避難しましょう。

玄関先に消火器を置き、誰もが直ぐに使えるようにすることが有効です！

～みんなで生き残るための取組み～

【家具や倒壊物の下敷きになった人の救出】

● 下敷きになった人への声かけ

- バール、車のジャッキなどを使い、**倒壊物の持ち上げ**

- 作った隙間から下敷きになった人の救出など

● 自分の安全を最優先に考えて、いつでも逃げられるようにしましょう。

- 1人での活動は危険なため、必ず2人以上で活動しましょう。

● 搬送する際は、相手に恐怖感や苦痛を与えないようにしましょう。

●心肺蘇生とAED

● 出血に対する止血

● やけどに対する手当

- **けが人の搬送**
 - ・平地：簡易担架や毛布、人力
 - ・階段：車椅子や搬送器具 など

足側から搬送

足踏方ふ殿迄

应急手当
直接压迫止血法

- 集めた情報は、情報収集用の用紙を作成するなどし、漏れのないように記録しましょう。

- 班（組）単位のグループ内で情報収集
- グループで収集した情報を市の防災組織などに伝達

- 情報の伝達は、地域に応じた手段を使います。

グループで収集した情報

安否情報	避難行動要支援者 などの有無	被害状況 (人、建物など)
○	○	○

火災の有無 情報を伝達 市の防災組織など

記入欄

例：私は地域のために災害時〇〇〇〇をします。

この地域振興計画は、4,400部作成し、一部あたりの単価は75円です。

裏面



その3 防災まち歩きのとりのまとめ

机の上にある大きな地図に
防災まち歩きの結果をとりのまとめます。

ーとりのまとめ方法ー

1.大きな地図にシールを貼る

青色シール:災害時に役立つ場所

赤色シール:災害時に危険な場所

2.付箋になぜ役立つのか、なぜ危険なのかを書いて 地図上に貼る

その3 防災まち歩きのとりまとめ

とりまとめ例



その3 防災まち歩きのとりのまとめ

グループ内で意見交換し、
新たに**役立つ場所・危険な場所**に気づいたら
大きな地図に追加してください。

とりのまとめの最後に、、、

3グループほど とりのまとめた内容を発表いただきます

- まち歩きを終えて気づいたこと
- どんなところを**役立つ場所**や**危険な場所**にしたのか

その3 防災まち歩きのとりのまとめ

グループで相談しながら進めてください。

時間は30分間です。

その4 次回のWSについて

次回、第3回WSが最後となります。

次回のWSでは、皆さんに作成していただいた
「地域避難計画」「地域タイムライン」
の最終報告をします。

日時：11月15日（土）13：30～15：00

場所：和泉市役所 別館3-1、3-2

最後に

今回の取り組みをよりよくするために、
アンケート記入のご協力お願いいたします。
記入していただいた方はお帰りいただいて構いません。

重要 机の上に置いておく資料

- ・とりまとめた大きい地図
- ・地域タイムライン
- ・町会ごとの防災まち歩き地図
- ・アンケート用紙